

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	01_北海道
市区町村名	01207帯広市
自治体区分	中核市

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
01207帯広市	①学校運営上の課題	01 教職員の時間外勤務の是正	市内学校の教育職員に係る超過在校等平均時間が小学校（義務教育学校前期課程）268時間、中学校（義務教育学校後期課程）460時間となっており、働き方改革の取り組みの推進が課題となっている。	専門スタッフや加配教員等の配置のほか帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プランに基づく取組	全ての市立学校での学校運営協議会の開催やコーディネーター等を対象とした研修会を通じて、保護者や地域住民への理解や参画を促す。	保護者や地域住民の理解、コーディネーターのスキル向上を図ることによって、地域との協働が進み、教育職員の負担が軽減する	市立学校の教育職員に係る超過在校等時間の状況	小学校（義務教育学校前期課程）268 中学校（義務教育学校後期課程）460	時間	360	小学校（義務教育学校前期課程）249 中学校（義務教育学校後期課程）438	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫改善が求められる ・すべての市立学校で学校運営協議会を開催した。 ・コーディネーター等を対象として、地域コーディネーターのスキル向上に係る養成講座を3回開催した。 ・保護者や地域住民の理解が進んだため、地域学校協働活動が推進され、中学校（義務教育学校後期課程）では目標値には届かなかったものの、時間外勤務の是正に寄与した。 ・次年度は、引き続き学校運営協議会の理解を進めるとともに、地域協働活動の核となるコーディネーターの発掘、スキル向上を目的とした研修会を重点的に行う。